

学校規模適正化の進め方(改定素案)について

資料1

1 概要

教育委員会では、平成29年3月に「北九州市立小・中学校の学校規模適正化の進め方」を策定し、教育環境の整備による教育効果の向上を目的に、学校規模適正化の取組を進めてきた。

更なる取組の推進と、社会・教育環境の変化、児童生徒数の将来推計の更新時期などを見据え、学識経験者、保護者、地域、学校関係者等から構成された「北九州市学校規模適正化の進め方検討会」の幅広い意見も踏まえながら、「北九州市立小・中学校の学校規模適正化の進め方」を改定するもの。

2 検討会について

(1) 開催状況

第1回：令和5年7月31日(月)開催

【学校規模適正化の考え方、北九州市の現状、現在の進め方のポイント】

第2回：令和5年8月24日(木)開催

【論点整理・事例紹介】

第3回：令和5年11月6日(月)開催

【今後の進め方の検討(たたき台)】

第4回：令和5年12月19日(火)開催

【検討会意見の整理】

第5回：令和6年1月26日(金)開催

【検討会意見のまとめ】

(2) 主な意見

- ・「こどもまんなか」や児童生徒、教職員のウェルビーイングの視点も必要
- ・ ICT 教育、特別支援教育など多様なニーズに対応するために幅広い検討が必要
- ・ 小中一貫教育校として統合するなど、未来に向けた取組としてほしい
- ・ 前向きな議論ができるような保護者・地域等への情報提供や十分な説明が大切
- ・ 跡地の活用も含めて、地域コミュニティにおける学校施設のあり方が重要
- ・ 財政ありきは望ましくないが、限られた財源で効果的な適正化とする視点は重要

3 改定素案について

資料2のとおり

4 今後のスケジュール(予定)

- 改定素案に対するパブリックコメントの実施
令和6年4月18日(木)～令和6年5月13日(月)
- 成案の策定時期
令和6年6月中旬頃